

平成28年熊本地震 災害対応（主な内容）

4月14日（木） 21時26分 前震発生

4月16日（土） 1時25分 本震発生

【会議その他の対応】

● 4月18日（月）

第1回地震対策代表者会議 10時～

- ・職員、入所者（代理人）の安否確認
- ・ライフライン、施設備品、設備機器の被災状況確認
- ・食料品・介護用品等の仕入れ可否の確認、備蓄品移動（相談室）
- ・救急車輛、消防車輛等の駐車スペース確保（第1駐車場）

● 4月19日（火）

・下水配管緊急補修工事

全館のトイレを始めとする全給水を使用禁止とし、仮設トイレ設置対応。

・耐震調査事業者による建物被災状況確認

新館～別館への渡り廊下について通行止め措置。

別館1階入所者に対する配膳の為、仮設の渡り廊下を設置。

・20時に宇城市より来荘、周辺住民対応。

● 4月20日（水）

第2回地震対策代表者会議 9時30分～

・ボイラー・排水管復旧工事、新館⇄別館渡り廊下通行止め、県道沿い法面崩落危険性による県道通行止め及び避難指示等について現状報告。

・入所者居室移動の必要性など今後の対策検討。

・指示命令系統の確認、情報の集約・整理。

午後、宇城警察署より来荘、被災状況確認。

● 4月22日（金）

第3回地震対策代表者会議 10時～

午前、施設被災状況確認の為、宇城市他来荘。

夕方、宇城市、鹿児島大学岩船教授、現場確認の為に来荘。

● 4月25日（月）

第4回地震対策代表者会議 14時30分～

● 4月27日（水）

第5回地震対策代表者会議 11時～

- 震災復旧工事について継続中（地盤沈下による下水管工事、建物修復工事など）。
- 法面崩落対策については、県及び宇城市と協議中。

【避難者受け入れ】

- ・震災時は満床（190名+20名）で運営。
- ・震災直後から地域の要援護高齢者や家族の避難受け入れを行い、一般住民や被災職員についても夜間を中心に50～60名受け入れを行った。
- ・自治体や民生委員からの要請による被災者支援のため、定員超過利用を実施した。
- ・法人内事業所「ケアハウス下通り」は、熊本市が断水のため、入居者・職員20名を4月17～20日まで地域交流センターにて避難受け入れを行った。

【インフラ・設備・建物】

- ・インフラについては、水（井水）、電気は支障なし。
ボイラーはサブタンクオイル漏れ・配管水漏れ等で、本震発生後から運転停止。
修理後、重油を給油し4月21日試験運転から運転再開へ。
ガスは本震発生後安全確認の為一旦停止、その後使用再開。
- ・エレベーターは、地震の揺れにより度々緊急停止。
入所者への配膳は、階段を使用し人力で実施。
4月22日夕食配膳より給食エレベーター使用（人は乗らないよう指示）。
4月26日2号機・3号機も復旧。

【施設運営】

- ・入所者の居室移動（しらぬい荘）
2階デイルーム ⇒ 新館、 1課 ⇒ 東側へ（4月20日）
1課北棟 ⇒ 2階北棟、 1課別館 ⇒ リハビリセンター、会議室、ホール
2課（2人部屋） ⇒ 新館廊下（4月22日）
居室移動していた入居者について元に戻す（4月30日午後）
- ・しらぬい荘デイサービスセンター（本震後、23日（土）まで営業休止）
4月22日（金）入浴サービス提供（14名）：登仙庵使用（デイ建物は使用せず）

【支援物資受け入れ】

別紙参照。